

済生館平川秀紀が学術集会会長として開催され、約230名が参加し成功裏に終わりました。「医療の質を高めるためのマネジメント」をメインテーマとし、特別講演は山形大学医療政策学教授の村上正泰先生から「地域医療構想と今後の病院改革」と題して、地域における医療改革の処方箋を解りやすく提示していただき、ハブ機能を持った地域に密着した病院の育成が課題と指摘されました。ランチョンセミナーは「チーム医療を効果的に行うためのTQM活動」を中頭病院の翁長 多代子先生からお話しをいただきました。シンポジウムはメインテーマに沿い看護支援、病棟での薬剤師の役割、感染、緩和、転倒防止、ITを活用した連携、地域包括ケアシステムを活用した在宅医療まで7演者による発表と討論が行われました。一般演題も23題あり毎年発表内容の質も着実に高まり、大変有意義な学術集会でした。

第10回宮城県支部学術集会

学術集会会長：大崎市民病院副管理者兼院長 並木健二



会場風景

2016年7月23日(土)に第10回宮城県支部学術集会を大崎生涯学習センター(パレットおおさき)にて開催しまし

た。今回は「医療従事者の子育て支援のあり方」をメインテーマに特別講演、ランチョンセミナー、一般演題21題のプログラムとなり、145名の方にご参加いただきました。

特別講演では、秋田県厚生農業協同組合連合会平鹿総合病院の深堀耕平先生に「ある循環器内科医の“育児休暇”取得報告」についてご講演いただきました。ランチョンセミナーでは、大崎市民病院の坂谷内 徹先生に「放射線治療へようこそ」と題して放射線治療の現状について興味深い内容でご解説いただきました。一般演題は6つのセッションに分かれて発表していただきました。いずれも充実した発表と活発なディスカッションが行われ盛会裡に終わることができました。

最後になりますが、本学術集会の開催にあたりご支援、ご協力いただきました方々、ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

分科会等開催案内

2016年度医師事務作業補助者指導者養成講習会

テーマ：講義とワークショップによるチームマネジメント実践力の涵養

本学会では、2010年度より医師事務作業補助者の養成講習会を開催してきたところですが、この度学会会員の強い希望があり、今年度も、医師事務作業補助者の指導者を養成するための講習会を下記要領で開催することとなりました。本講習会は、指導者として補助者を育成し、またチームのリーダーとして必要な、書類・資料作成や、登録・統計の知識と技術、マネジメント、業務連携の手法、さらに今後の展望について、講義・演習とワークショップを通じて修得し、現場で役立つ実践力を養うことを目的としています。

全課程受講者には、修了証を交付します。実務研修のために定員が限られていますので、お早めにお申込み下さい。

なお、本講習会は医師事務作業補助者の資格取得のための講習会ではありませんので、ご注意ください。

- ・日時 2016年10月15日(土)、16日(日)、
11月12日(土)、13日(日)
- ・場所 日本医科大学 教育棟2階 講堂
(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)
- ・プログラム ※授業の順番等は変更になる場合があります。

第1クール

第1日 10月15日(土)

- 8:30 受付
- 9:20 開講式・オリエンテーション
- 9:30~10:30 個人情報保護・情報セキュリティ
- 10:30~11:30 統計業務、Excelの応用
- 11:30~12:30 医療の流れ
- 12:30~13:30 昼食
- 13:30~14:30 医療保険
- 14:30~15:30 診療報酬
- 15:30~16:30 DRGとDPC
- 16:30~17:30 コーチング

第2日 10月16日(日)

- 8:20 受付
- 8:30~ 9:30 経理・秘書業務
- 9:30~10:30 疾患と臨床用語(内科系)
- 10:30~11:30 疾患と臨床用語(外科系)
- 11:30~12:30 疾患と臨床用語(整形外科系)
- 12:30~13:30 昼食
- 13:30~16:30 ワークショップ1：経営改善への取り組み